

月刊天文ガイド” 媒体概要

株式会社誠文堂新光社

媒体概要

名称:天文ガイド

(てんもんがいど)

創刊:1965年

発行日:毎月5日(月刊)

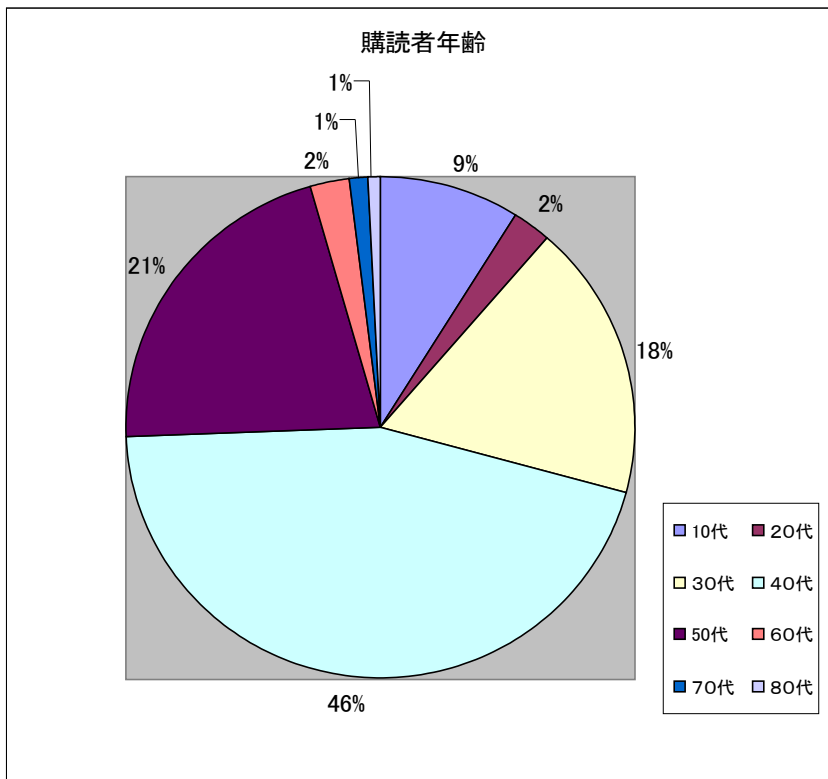
発行所:株式会社誠文堂新光社

判型:B5 中綴じ 192頁

発行部数:80,000部

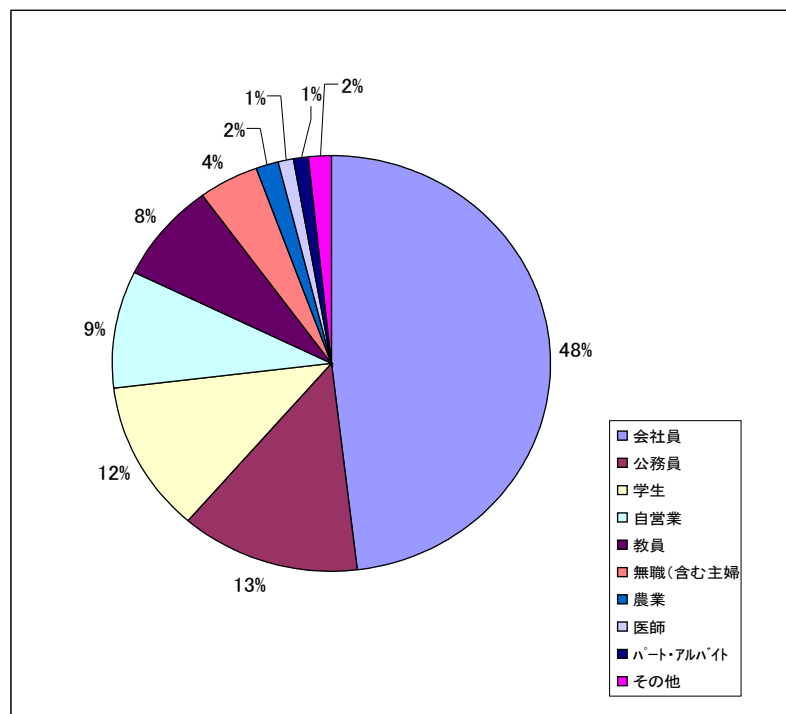
定価:780円(税込)

読者層



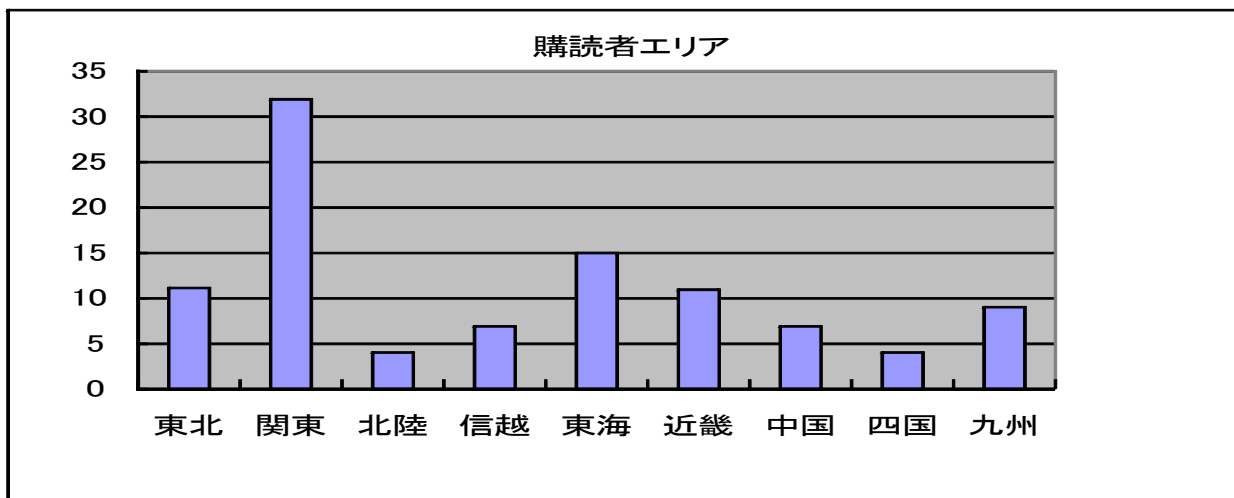
- ボリュームゾーンは40代とその周辺。圧倒的に男性。
- 一方で10代も多い。
(主に中・高校生)
- 購読歴は非常に長く、20～30年間というケースも多い。創刊当初からのファンもまれではない。

購読者職業



- 会社員が圧倒的に多く、約半数を占めている。
- 次点は公務員。なかでも教員の占める割合が高い。

居住エリア



※「東北」は北海道、「九州」は沖縄を含めたものです

天文以外の趣味

- **カメラ・写真**: 圧倒的最上位。天体写真の撮影用に機材を持つことから、鉄道や風景、動物・風景などへ応用させている。
- **スポーツ**: スキー・ゴルフ・サイクリング・野球・テニスほか、多岐にわたる。
- **アウトドアレジャー**: 天体観測は屋外で行なわれることが多いため、星の見えない昼の時間の過ごし方として、アウトドアレジャーが挙げると考えられる。
回答例としては、キャンプ・釣り・登山・野鳥観測等がある。
- **パソコン**: インターネットはもちろん、自作PC制作などにも強い関心をもつ。
天体写真の画像処理等にPCは欠かせないことから、興味の対象となっている
- **音楽・芸術鑑賞**: 演奏・鑑賞ともに。他誌の読者層と異なるのは、音楽鑑賞でも特にオーディオに興味をもつ読者が多かったことが特徴として挙がる。
- **模型・工作**: 鉄道模型・日曜大工など、精密作業を必要とする趣味が挙げられた。
- **そのほか**: 自動車・オートバイ、旅行、読書、室内ゲーム(TVゲーム、囲碁・将棋、ペンシルパズル)等

購読する他誌

- **カメラ雑誌**: アサヒカメラ、日本カメラ、カメラマン、CAPA、デジタルカメラマガジン、フォトテクニック、デジタルフォト、百万人の写真ライフ、デジタルキャパ、コマーシャルフォト等
- **科学雑誌**: Newton、星ナビ、月刊天文、子供の科学、National Geographic等
- **パソコン雑誌**: 特選街、アスキープラス、月刊ASCII、日経パソコン、日経クリック、PCユーザー、ヨミウリPC等
- **音楽雑誌**: MJ無線と実験、BSFan、FMクラブ、レコード芸術、音楽の友等
- **アウトドア誌**: Be-Pal、山と溪谷、釣りサンデー、岳人、バーダー等